

# NEWS LETTER

特別支援学校就労応援団とやまニュースレター vol. 2 令和3年6月発行

就労応援団の情報を年4回お届けします！！

今年度は、ニュースレターを年間4回発行し、企業における生徒・保護者・教職員等を対象とする職場見学や実習(就業体験)の受入、特別支援学校の授業における生徒への技術指導や教員への助言等の実践事例を紹介していきたいと考えています。どうぞお楽しみに！

事例紹介 ケース1 「仲間からのサポート」

今回は、富山総合ビルセンター(株)[清掃業]において、適切なサポートが行われたケースを紹介します。

**Aさんは…** Aさんは、数か所の施設や事業所を定期的にまたはスポットでクリーニングをしてまわる正社員です。家庭では家族との会話はできますが、学校や職場など特定の状況では、声を出して話すことが難しいことがあります。そのため、必要なときは、筆談またはスマホ等発声機能付きの機器でコミュニケーションをとっています。

一方、就職した令和2年度、富山県障害者技能競技大会のビルクリーニング部門で優勝し、全国大会にも出場した実力の持ち主でもあります。

**仲間のサポート** Aさんは、通常3人のユニットで仕事をしています。当初、ユニット内でのコミュニケーションがスムーズにいかず、トラブルになったり、そのために本人が悩んだりしたことがありましたが、社員の理解により、スマホアプリのLINEを使うことで解決を図りました。また、仕事現場では、社員以外の人と接することも多く、トラブルが発生したことがありました。例えば、仕事中に現場施設の関係者から声がかかっても、すぐに応じることができず怒られることがありました。これについては、ユニットの仲間が「話しづらいことがあります」というカードを胸につける方法を考案したことで解決することができました。

**責任者の理解** Aさんは、職場で質問や悩みなどを相談することは難しいですが、家庭では保護者に仕事の話をよくしていて、保護者から、事業所の責任者であるB部長に本人からの質問や悩みを伝え、解決を図っています。

B部長は、Aさんが苦手としていることを在学中から知っており、学校で行っていたメモによる筆談とスマホのメモ機能の利用を会社でも引き続き行うことにし、そのことを社員に周知するなど、対策や人材育成に心を配っていました。責任者が障害を理解し、日頃から社内関係者への配慮と支援が行われていたので、温かい仲間のサポートが自然と生まれたのです。



特別支援学校就労応援団とやま登録企業数

67社(令和3年6月20日現在)

富山県教育委員会  
県立学校課 特別支援教育班 発行  
〒930-8501 富山市新総曲輪1番7号  
TEL 076-444-3451  
FAX 076-444-4437

登録企業については、インターネットで「就労応援団とやま」で検索し、サイトでご確認ください。

「自分たちに何ができるだろう…」とお悩みの企業様。まずは、特別支援学校にお気軽に声をおかけください。そして、特別支援学校の生徒の姿や学習の様子をご覧ください。企業様と生徒との出会いが大切です。